

授業科目名	社会福祉現場実習指導	担当教員名	山下 智佳子
科目区分	社会福祉主事任用資格に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	
必修・選択/単位数	選択 / 2単位 (180時間)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	2年 前期/後期 (1-3期) / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童相談所で児童福祉司として従事したほか、福祉事務所や社会福祉協議会での実務経験を活かして、具体的に実践的な授業を行っている。
授業の概要及び全体目標	社会福祉施設実習（1年次春季）の事前指導を1年後期に、事後指導を2年前期に行う。また、機関実習（2年次夏季）の事前指導を2年前期に、事後指導を2年後期に行う。 ※上記の演習に加えて、実習先のオリエンテーション、研修等に参加する必要がある。		
到達目標	1.社会福祉現場実習（施設）を振り返り、自己課題を明らかにし、社会福祉現場実習（機関）に臨むことができる		
テキスト	「実習ハンドブック」大阪教育福祉専門学校編著		
参考書・参考資料等	「新・社会福祉とは何か第3版」一番ヶ瀬康子編著（ミネルヴァ書房） 「改訂 新しいソーシャルワーク社会福祉援助技術入門」杉本敏夫、住友雄資著（中央法規）		
成績評価の方法	授業参加態度：30% / 課題シートの提出（毎回）：60% / 発表内容：10%		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業時に指示します。事後指導については、毎回提出する課題シートで振り返りをしますが、「実習ハンドブック」と授業時に配付した資料で毎回復習しておきましょう。また、社会福祉現場実習（施設）や教育実習・保育実習を振り返ることで、自己課題を明らかにし、社会福祉現場実習（機関）に活かしましょう。課題シートには質問事項も記載できるようにし、次の授業で回答します。 オフィスアワー：授業終了後（研究室）		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	オリエンテーション 事後指導（施設①）リフレクションシート作成	1	
第2回	事後指導（施設②）リフレクションシート グループワーク	1	
第3回	事後指導（施設③）エピソード記録作成	1	
第4回	事後指導（施設④）エピソード記録 グループワーク	1	
第5回	事後指導（施設⑤）グループ発表	1	
第6回	社会福祉現場実習（機関）の意義と目的	2	
第7回	社会福祉実施体制	3	
第8回	社会福祉実施機関	3	
第9回	児童相談所	3	
第10回	保健所、保健センター	3	
第11回	福祉事務所①生活保護	3	
第12回	福祉事務所②五法	3	
第13回	社会福祉協議会	3	
第14回	相談援助①ソーシャルワーク	3	
第15回	相談援助②ケースワークの原則	3	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
	授業の内容	到達目標番号
第16回	相談援助③ロールプレイ	3
第17回	社会福祉現場実習（機関）の心得	2
第18回	社会福祉現場実習（機関）の課題設定①（事前設定）	4
第19回	社会福祉現場実習（機関）の記録の書き方	2
第20回	実習機関についての事前学習①グループワーク，グループ①発表	3,4
第21回	実習機関についての事前学習②グループワーク，グループ②発表	3,4
第22回	実習機関についての事前学習③グループワーク，グループ③発表	3,4
第23回	実習機関についての事前学習④グループワーク，グループ④発表	3,4
第24回	実習機関についての事前学習⑤グループワーク，グループ⑤発表	3,4
第25回	社会福祉現場実習（機関）の課題設定②（最終課題設定）	4
第26回	事後指導（機関①）リフレクションシート作成	5
第27回	事後指導（機関②）リフレクションシート グループワーク	5
第28回	事後指導（機関③）エピソード記録作成	5
第29回	事後指導（機関④）エピソード記録 グループワーク	5
第30回	事後指導（機関⑤）グループ発表 まとめ	5